

2017年(平成29年)12月1日

会員各位

第 136 回
Klub Zukunft 月例会
- 歴史・文化に親しむ会 -

今年もはや一ヶ月を残すのみとなりました。「少年老い易く学成り難し、一寸の光陰軽んずべからず」とはよく言ったものです。改めて肝に命じたいものです。

さて、12月第136回のKlub Zukunft月例会は日本の伝統芸能の一つである講談をテーマに開催いたします。女流講談師の旭堂南照さんを講師にお招きし、「講談に導かれて」と題しお話をいただきます。併せて、「真柄のお秀」と題する痛快な講談を一席弁じていただきます。

南照さんは社会人の時に、講談の何たるかも知らずに講談を習い始め、その2年後51歳の年に師匠の旭堂南陵一門に入門されたそうです。その後、気がつけば、講談を軸に生活をするようになり、講談を通して物を考えることによって、どんどん人の輪が広がり繋がるようになってきたそうです。入門して7年半、サラリーマンの世界から講談師の世界へゆっくりとシフトされてきた、そんな貴重な体験をお聞かせいただきます。

今回も皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。また、皆さまのお友達にも働きかけをしていただき、一緒にご出席いただきたくどうぞよろしくお願いいたします。

- ◆ 日 時： 2017年12月20日(水曜日) 16:00～17:30
- ◆ 場 所： 大阪市立大学 文化交流センター
大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階
(添付の地図をご参照下さい。)
- ◆ テーマ：「講談に導かれて」
講談「真柄のお秀」…日本で一番大きな刀を使った真柄十郎左衛門直隆の母。
気は優しくて、力持ち。痛快なお話です。
- ◆ 講 師： 旭堂南照(講談師)様
- ◆ 参加料： 正会員； 500円 / 賛助会員&一般； 1,000円
- ◆ 月例会への参加はKlub Zukunftのホームページからお申し込み下さい。
<http://klubzukunft.com/>
- ◆ 尚、月例会終了後、懇親会を開催しますので、併せてご参加下さい。(会費は実費)

以上